

SPA8000電話アダプタの呼出音およびコール待機トーン仕様

目的

呼び出し音とコール待機トーンの仕様は、電話機でコールを発信するためにダイヤルされる特定の呼び出し音または番号を識別するために使用されます。リングとコールウェイトイングトーンの仕様設定は、リング波形、リング電圧、およびリング周波数によって異なります。この機能は、SPA8000アダプタ電話機のさまざまな呼出音と呼出音の設定をカスタマイズするために使用されます。このドキュメントでは、SPA8000で呼出音とコール待機トーンの仕様を設定する手順について説明します。

該当するデバイス

- SPA8000

[Software Version]

- 6.1.12

呼出音とコール待機トーンの設定

ステップ1：管理者としてWeb構成ユーティリティにログインし、[Admin Login] > [Advanced] > [Voice] > [Regional]を選択します。[地域]ページが開きます。

Distinctive Call Waiting Tone Patterns			
CWT1 Cadence:	30(.3/9.7)	CWT2 Cadence:	30(.1/.1, .1/9.7)
CWT3 Cadence:	30(.1/.1, .1/.1, .1/9.7)	CWT4 Cadence:	30(.1/.1,.3/.1,.1/9.3)
CWT5 Cadence:	1(.5/.5)	CWT6 Cadence:	30(.1/.1,.3/.2,.3/9.1)
CWT7 Cadence:	30(.3/.1,.3/.1,.1/9.1)	CWT8 Cadence:	2.3(.3/2)
CWT9 Cadence:	30(.3/9.7)		
Distinctive Ring/CWT Pattern Names			
Ring1 Name:	Bellcore-r1	Ring2 Name:	Bellcore-r2
Ring3 Name:	Bellcore-r3	Ring4 Name:	Bellcore-r4
Ring5 Name:	Bellcore-r5	Ring6 Name:	Bellcore-r6
Ring7 Name:	Bellcore-r7	Ring8 Name:	Bellcore-r8
Ring9 Name:	Bellcore-r9		
Ring and Call Waiting Tone Spec			
Ring Waveform:	Trapezoid ▾	Ring Frequency:	20
Ring Voltage:	85	CWT Frequency:	440@-10
Synchronized Ring:	no ▾		
Control Timer Values (sec)			
Hook Flash Timer Min:	.1	Hook Flash Timer Max:	.9
Callee On Hook Delay:	0	Reorder Delay:	5
Call Back Expires:	1800	Call Back Retry Intvl:	30
Call Back Delay:	.5	VMWI Refresh Intvl:	0
Interdigit Long Timer:	10	Interdigit Short Timer:	3
CPC Delay:	2	CPC Duration:	0
Vertical Service Activation Codes			
Call Return Code:	*69	Call Redial Code:	*07
Blind Transfer Code:	*98	Call Back Act Code:	*66
Call Back Deact Code:	*86	Call Back Busy Act Code:	*05
Cfwd All Act Code:	*72	Cfwd All Deact Code:	*73
Cfwd Busy Act Code:	*90	Cfwd Busy Deact Code:	*91

ステップ2:[Ring Waveform]ドロップダウンリストから、呼び出し信号の波形のタイプを選択します。

- 正弦波：リングスタイルの波形は正弦波です。
- 「台形」 – リングスタイルの波形は台形です。台形リング波形は、正弦波リング波形よりも生成が容易である。

ステップ3:[Ring Frequency]フィールドに、使用するリング周波数の目的の値を入力します。値はヘルツで、10 ~ 100 Hzの有効な範囲です。デフォルトでは20に設定されています。

ステップ4:[Ring Voltage (リング電圧)]フィールドに、60 ~ 90 Vの有効な範囲の値を入力します。デフォルトでは85に設定されています。

ステップ5：コールウェイティングトーン(CWT)の周波数スクリプトとして、コールウェイティングトーン(CWT)を入力します。周波数スクリプトは、周波数とそれに対応するレベルのシーケンスです。デフォルトでは440@-10に設定されています。すべての特徴的なCWTは、このトーンに基づいています。

ステップ6:[Synchronized Ring]ドロップダウンリストからyesまたはnoを選択して、リングトーンを同期します。デフォルトではnoに設定されています。

ステップ7:[Submit All Changes]をクリックして設定を保存します。